

ポルトガル人アーティスト ヴァネッサ・バラガン氏の作品を 市内施設で展示します －万博レガシーの活用－

堺市では、大阪・関西万博の波及効果を万博レガシーとして最大限活用し、市内への誘客や周遊につなげることを目的に、ポルトガルパビリオンで使用された船舶用ロープやネットを再利用したアート作品を堺市内で展示します。

本作品は、令和 7 年 10 月 31 日付け報道提供資料でお知らせしたとおり、ポルトガルパビリオン内でヴァネッサ・バラガン氏が制作を開始され、大阪・関西万博の閉幕に伴い、元堺消防署にて引き続き制作されました。

1 作品展示

(1) 企画展

ヴァネッサ・バラガン氏が制作したアート作品のほか、ポルトガルパビリオンで使用された船舶用ロープやパネル展示等を実施します。

企画展名	ポルトガルと堺をつなぐ海	〈フェニーチエ堺×ガシバル〉ディスカバリー！さかい
日時	令和 8 年 1 月 6 日（火）～1 月 11 日（日） 午前 10 時～午後 5 時 (最終入場：午後 4 時 30 分)	令和 8 年 2 月 3 日（火）～2 月 19 日（木） 午前 9 時～午後 8 時 (最終入場：午後 7 時 30 分) ※最終日のみ 午前 9 時～午後 3 時
会 場	東文化会館 ギャラリー (堺市東区北野田 1084-136)	フェニーチエ堺 交流・創作ガレリア (堺市堺区翁橋町 2 丁 1 番 1 号)
休館日	令和 8 年 1 月 7 日（水）	令和 8 年 2 月 16 日（月）
観覧料	無料	無料
主催	主催：堺市	主催：フェニーチエ堺
その他	ポルトガルパビリオンの外観をイメージし、天井部 分から船舶用ロープを設置します。	大阪・関西万博で実際に展示された直径 2m の 「大屋根リング模型」も展示されます。

(2) 常設展示

令和 8 年 1 月 16 日（金）から、さかい利晶の杜 2 階企画展示室前壁面（堺市堺区宿院町西 2 丁 1 番 1 号）にて、ヴァネッサ・バラガン氏が制作したアート作品等を展示します（他施設に貸出している場合等を除く）。
詳細は以下の堺市ホームページをご確認ください。

https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/bunka/art_kanrenjigyo/expo_legacy/SpecialExhibition_Portugal.html

2 展示内容

作品名：「Oceano（オセアノ）」

作者名：Vanessa Barragão（ヴァネッサ・バラガウ）氏

概要：ポルトガルパビリオンで使用された船舶用ロープやネットを再利用したアート作品で、ポルトガルと日本をつなぐ海を象徴し、文化と持続可能性の対話を表現しています。

大きさ：縦約 1.1m × 横約 1.8m

3 Vanessa Barragão（ヴァネッサ・バラガウ）氏

国際的に活躍し、伝統的な技法と持続可能性を融合させるアーティストです。廃棄された繊維を再利用して、海、自然、クラフトマンシップに着想を得たテキスタイルアート等を制作し、作品はポルトガルパビリオンでも披露されました。



ヴァネッサ・バラガウ氏

4 本市とポルトガル共和国との関わり

○歴史的な交流

国際交易により栄えた中世の堺は、ポルトガル人らが伝えた鉄砲の一大生産地としても知られ、タバコ包丁や堺打刃物に受け継がれた鉄の加工技術は自転車産業へつながりました。また、ポルトガル人の宣教師ロドリゲスの著書『日本教会史』には堺の茶の湯文化（chanoyu, suki, xichu no sankio 等）が詳細に記録されています。さらに、昭和 45 年（1970 年）に開催された日本万国博覧会（大阪万博）のポルトガルパビリオンに出演されていたジョルジ・ヴィエイラ作の彫刻《東と西の接点》が万博終了後に寄贈されました。この作品は、現在、本市のザビエル公園（戎公園）内に設置され、ポルトガルとの歴史的なつながりを伝えています。

○大阪・関西万博を契機とした交流

大阪・関西万博では、ポルトガルパビリオン内で、堺とポルトガルの歴史的・文化的なつながりを紹介するパネルや鉄砲レプリカの展示など、堺のプロモーションを実施しました。また本市とポルトガル共和国の交流のレガシーとして、ポルトガルパビリオンで使用された船舶用ロープやネットを再利用したアート作品が堺市内で制作されました。



©Catarina Serrão - AICEP

問い合わせ先	(作品展示に関すること)
	担当課：文化観光局 文化国際部 文化課 電話：072-228-7143 ファックス：072-228-8174
	(ポルトガルとの交流に関すること)
	担当課：文化観光局 文化国際部 国際課 電話：072-222-7343 ファックス：072-228-7900